

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	16	課題区分	C	令和4年(2022年)3月4日		
横断的な課題	2交流と地消地産や産業振興による地域の活性化							
地域重点政策	1若者・女性・外部人材の活躍推進						上田地域振興局	
実施機関	工科短期大学校			担当課	所属	事務局		
事業名	上田地域の短期大学の連携による地域で活躍する人材定着促進事業				電話	0268-39-1111		
				E-mail	kokatankidai@pref.nagano.lg.jp			
事業の概要	目的 (目指す姿)	上田地域の高等教育機関として上田女子短期大学と連携し、それぞれの特性を活かした地域社会への貢献、人材育成並びに教育研究を行うことで、両校の地域価値の向上を図り、地元の入学希望者を増やし、学生が地元就職し、定住に繋がる取組を行う。						
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や若者の東京圏等への流出による人材不足のおり、地域の短期大学等への入学者の減少及び卒業生の地元への就職離れが危惧されるところ。 ・地元からの入学希望者を増加させ、地元への就職を促進するために、当校の魅力を地元の中高生にPRする必要がある。これまでのPR活動は、当校単独で行ってきたが、上田女子短期大学と連携してPR活動を行うことで、PR効果を高めたい。 ・また就職においては、両校の学科の特性に応じたこれまでの就職先以外にも、両校の連携によって、より幅広い選択肢を学生に提供することが可能。 ・地元学生の両校への入学と地元への就職・定住という流れを形成することで両校の地域における価値を向上させる。※若年層(15～24歳)の全国から東京圏への転入超過10万4千人:2019年、総務省 						
概要内容 (変更後の内容)	内容	<p>上田女子短期大学と連携して、両校の情報発信、中学生へのキャリア教育、学生の就職支援等を実施する。</p> <p>1 連携した情報発信の取組み 両校の連携の象徴としてイメージキャラクターを両校の学生で協力して考案する。 イメージキャラクターは、情報発信のツールとして制作するタペストリーのデザインに使用する。 タペストリーは継続して使用できるようポスターを差し込めるつくりとして上田駅前のお城口バスターミナルに掲出し、地域の中高生や保護者、地元企業の従業員等に両校の旬の情報を発信することにより、地域における知名度の向上を図る。掲載期間は令和3年度は「2、3月中」、令和4年度以降はイベント等の予定等に応じて不定期ではあるが、設置場所管理者の上田市と調整の上、可能な限り掲載したい。 (以下、推進費以外の財源による取組み)</p> <p>2 中学生を対象としたキャンパスツアーを開催(事業費:10万円) 将来就きたい仕事がイメージできるキャリア教育の機会としてキャンパスツアーを開催。 両校の魅力を発信し、地域人材の育成を目指す。</p> <p>3 両校の特性を活かした学生の就職活動への支援(事業費:8万円) 両校がそれぞれ開催するセミナーや技術研究等での地元を含む多くの企業と接する機会に、相互の学生が参加し、両校の特性を活かした学生の就職活動を支援することで就職・定住促進を図る。</p>						
	事業期間	R3年(2021年) 4月		～	R4年(2022年) 3月			
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考				
	広報活動	地域に向けて魅力を発信	149,600	広報用タペストリー作成(1枚)				
	合計		149,600					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	上田地域からの入学志願者の増加(R2:34名→R3:39名)		39名	34名(2月)	○ 達成			
	セミナー等への参加企業数		90社	98社	● 一部達成 ○ 未達成			
事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・上田女子短期大学と連携して両校の学生がイメージキャラクターを考案し、そのデザインを使用した情報発信ツールとして広報活動用タペストリーを製作し、2月2日から3月11日の間、上田駅前お城口バス停に掲示し知名度の向上を図った。 ・地元を含む多くの企業と学生が接触する機会を計画し、98社から申し込みがあったが、コロナ禍のため中止となった。 							
今後の方向性	上田女子短期大学と連携して、中学生等が将来就きたい仕事がイメージできるキャリア教育に繋がるよう、両校の魅力発信と地域人材の育成を図る取組を実施							